

初めまして、11月より司書に就任しております山田です。初の図書館だよりです。短い間ですがよろしくお願いします。

～冬休み特別貸出しのお知らせ～

ちょっと早いですがこのお知らせ・・・

テスト明けの12月6日(金)から27日(金)に借りた本の返却期限は、

1/10(金)です。1人何冊借りてもOK!

図書カードが無くても借りられます。カウンターで学年・組・名前を言って下さい。

※12/28(土)～1/6(月)は休館です。

「会えるはずのない人」の出会いの話

図書館についてのちょっとしたコラムです。本を読むとはどういうことか。いろいろ考え方はありますが**出会えるはずのない人との出会いを実現させること**でもあるのです。生きている場所や時間が異なれば直接出会えません。しかし、本を流通させたり保存させたらどうでしょう、**場所や時間の隔たりを克服**できます。そう考えるとロマンがありますね。

本校の図書室は本物の古文書こそ無いものの明治時代の作家の小説や随筆、さらに時代を遡って古典文学も揃えています。外国の文学もぎっしりあるし勿論現代の小説もあります。なんだかどの時代の話をしたのかよく分からなくなりました。時間の流れが混沌としていますね。そんなこと考えながら図書館を散歩してみるもの良いかもしれません。

鋭い方は三年前に公開されたアニメーション映画「君の名は。」(新海誠)のことが頭に浮かぶかと思うのですがどうでしょうか?書を**紐解く**ことを暗示するようなシーンもありますし。

ちなみに『小説 君の名は。』は本校の図書室でも所蔵してありますよ。



新刊図書コーナー

毎月新しい本が入ってます!

図にするとこんな感じ。
こういう流れで人と人とを繋いでいるのです。

カウンター前展示

むずかしそ～じゃない芸術やサブカルチャーの本を引っ張ってきってみました。

芸術と言えば図書室の上の音楽室から聞こえてくる音楽。穏やかな和声の進行が授業中の誰もいない図書室にマッチしています♪いつもありがとうございます。

図書委員のオススメ本

【担当 1-5、1-8】

『コンビニ人間』

村田 沙耶香著/文芸春秋 (913.6)

この本はコンビニバイト 18年目の36歳未婚女性の話です。この女性は、コンビニで働くことが生きがいになっている。しかし、新入り男性がやってきて、こんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられてしまう。私は30歳を過ぎ、誰に何と言われても就職も婚活をしない女性の生き方を読み「普通」とは何かというのをとても考えさせられました。

『浜村渚の計算ノート』

青柳碧人著/講談社文庫 (913.6文庫)

少年犯罪が増加した理由を政府は義務教育の中で物事を数値化し、事実だけを重じる理系科目は子供達が心を尊重しなくなると判断し、理数科目の地位が低くなったことに対して、地位向上のために天才数学者、高木源一郎が始めたテロ活動に対抗するために警察が用意したての女子中学生がフィボナッチ数式やlogなど様々な数式を使って戦うお話です。かなり読みごたえがあって面白い話です。図書室には1～7巻まで置いてあります。是非ぜひ、読んでみて下さい!

